

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和2年度事務事業(新規)]

一般会計						事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	重度障害者就業支援事業				シート番号	011-274	
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害者支援	課	評価責任者(課長名)

《 I . 基本情報》

基本 情 報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します			後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現			無
	2	事業開始年度	令和 2 年度			終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	堺市重度障害者就業支援事業実施要綱					
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画					
	5	事業実施の経緯	重度障害者の就労機会の拡大や社会参加の促進を目的として令和元年度に大阪府においてスキームを構築し、令和2年6月より堺市で実施。					

《 II . 事業概要》

事業 概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁	<input checked="" type="checkbox"/> 各区	<input type="checkbox"/> 出先機関 ()	<input type="checkbox"/> 市外郭団体	
			<input type="checkbox"/> 地域団体・市民	<input type="checkbox"/> 民間企業・NPO	<input type="checkbox"/> その他 ()		
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	重度訪問介護の利用者(支給決定者)かつ個人事業主				
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	常時介護を必要とする重度障害者の日常生活に係る支援を就業中にも行うことで、障害を理由として、働く意思と能力をもちながら働くことのできない者に対する就労機会を拡大し、障害者の社会参加を促進する。				
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	就業中や就業に伴う移動中及び休憩時間中の日常生活に係る介助を重度訪問介護事業者が行い、その対価をサービス提供事業所に支払う。利用料は原則1割負担(所得状況により減免あり)。				
	10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金

《 III . 投入量》

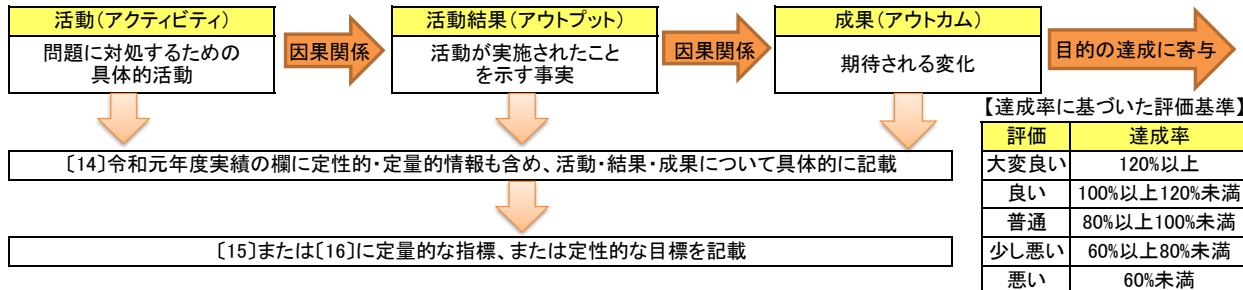
事業 コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
	事業費 (a)	千円	0	0	0	0	0	0	6,048
	扶助費	千円							6,048
		千円							
		千円							
		千円							
	国・府支出金	千円							3,024
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他()	千円							
	一般財源	千円							3,024
12	人件費 (b)	千円		0		0		0	820
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	0	0	0	0	6,868

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	重度障害者就業支援事業	シート番号	011-274
-------	-------------	-------	---------

«IV. 評価（測定・分析）»

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績						
活動実績と成果	14					
		指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
15	サービス提供人数	目標値				-
		実績値				
		達成率				
		評価				
16	サービス利用時間	算出方法・設定根拠など	サービス利用人數（目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。）			
		指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		目標値				-
		実績値				
17	17	達成率				
		評価				
		算出方法・設定根拠など	サービス利用人數（目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。）			
		備考（算出についての説明等）				
18	18	区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		①				
		② 上記①にかかる年間経費	千円			
		③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位			
19	19	備考（算出についての説明等）				

事業の効率性

区分					
17	①		単位	平成29年度	平成30年度
	②	上記①にかかる年間経費	千円		
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位		
18	備考（算出についての説明等）	区分	単位	平成29年度	平成30年度
	①				
	②	上記①にかかる年間経費	千円		
19	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位		
	備考（算出についての説明等）				

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	重度障害者就業支援事業	シート番号	011-274
-------	-------------	-------	---------

《V. 点検》

〈点検の前提〉

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	事業廃止の可能性	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響	
		■ 廃止できる	■ 廃止できない
20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	通勤、営業活動等の経済活動に係る外出等については障害福祉サービスの対象外であるため、廃止をすると、重度障害者の就労機会の確保が困難となる。
21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<input type="checkbox"/> 事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 通勤、営業活動等の経済活動に係る外出等については障害福祉サービスの対象外であるため、休止をすると、重度障害者の就労機会の確保が困難となる。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<input type="checkbox"/> コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 本事業は、自立支援給付の重度訪問介護の報酬とほぼ同水準の報酬としているため、縮減できない。
23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<input type="checkbox"/> 事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 今後事業所に対して、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向け、マスクや消毒液を配布する予定である。
効果的・効率的な事業実施（以下の観点で、改善する（または改善済）場合は■、改善しない（改善余地がない場合を含む）場合は□）	① ■ 公民連携の推進 ② □ ICT活用による効率化 ③ □ 関係部署名（ ） 関連事業名（ ） ④ ■ 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ ■ 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ □ その他（ ）	理由説明	
24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 ■ 令和2年度 □ 令和3年度 □ 令和4年度以降
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	所見 本事業は、重度障害者の就労機会の拡大や社会参加を促進するため引き続き実施していく。実施にあたっては、令和2年度から国の地域生活支援事業において府補助事業と同様のメニューが追加されたことから、両制度との整合性を図っていく。	